

2023年1月20日

廃棄衣料を新たな資源にする アップサイクル L ∞ PLUSの取り組み

KURABO

日本紡績協会

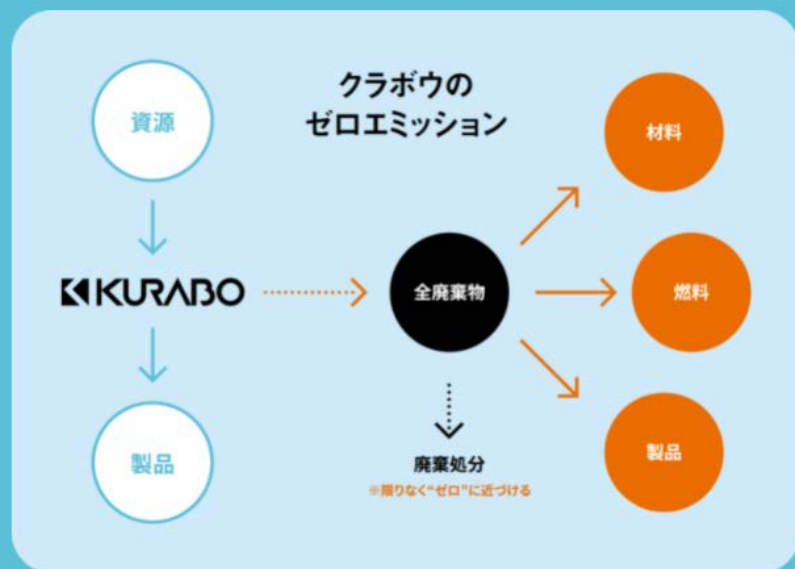
倉敷紡績株式会社 山内 一平

クラブウの環境負荷軽減への取り組み



クラブウは人・社会・地球の健やかな環境を考える「ヒューマン・フレンドリー発想」を原点にすえ、商品ライフステージ全体を通して、環境負荷低減を実現していきたいと考えています。

全社でゼロエミッションプロジェクトを推進、
大阪本社・東京支社や
全7工場・グループ27事業所で達成



主な製品・技術





再資源化プロジェクト生まれの素材
ループラス



アパレル・産地との協働

“もったいない”から生まれた
“もっといい”



LOOP PLUS
ループラス

リサイクルの方法

廃棄衣料・生産工程ロス

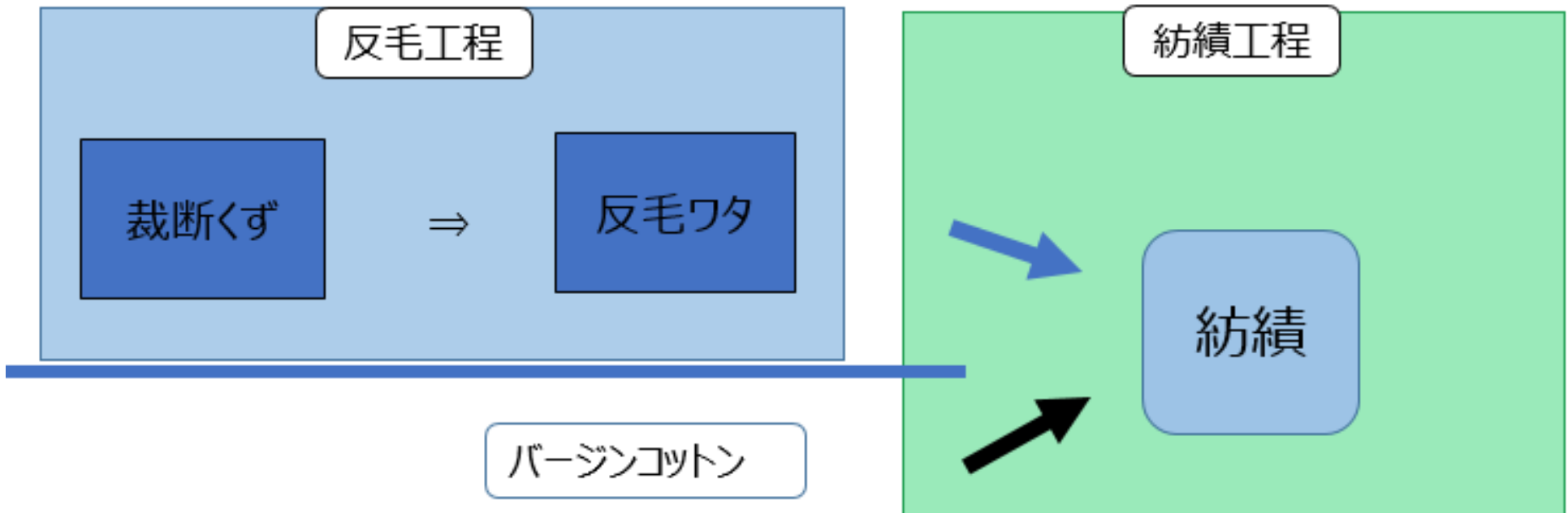


①ケミカルリサイクル
廃棄物に化学的な処理をして
原料に戻してからリサイクル

②マテリアルリサイクル
廃棄物を原材料として再利用する
“反毛”技術を選択した

③サーマルリサイクル
焼却した際に発生する熱エネルギーを回収し
利用する

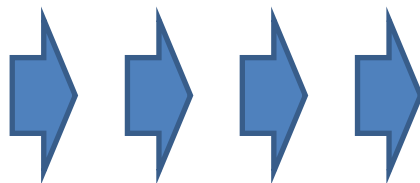
L ∞ PLUS糸紡績工程



反毛ワタ

製品/裁断屑を碎き反毛しワタ状態に戻されたもの

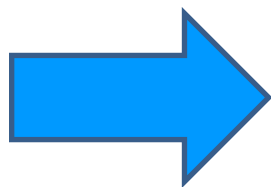
裁断屑/生地



反毛ワタ



反毛ワタ



ユニークな色・風合い



反毛ワタ作成実績

	反毛ワタ実績
タオル生地	○
カラーパンツ ストレッチ生地	○
ニット生地	○
デニム生地	○
ユニフォーム生地	○

国内での最初の取り組み

EDWINのデニム裁断屑を再利用したUPCYCLING SYSTEM



∞ ∞PLUS
×
Denim

EDWIN縫製工場より
裁断くずを受け取る。



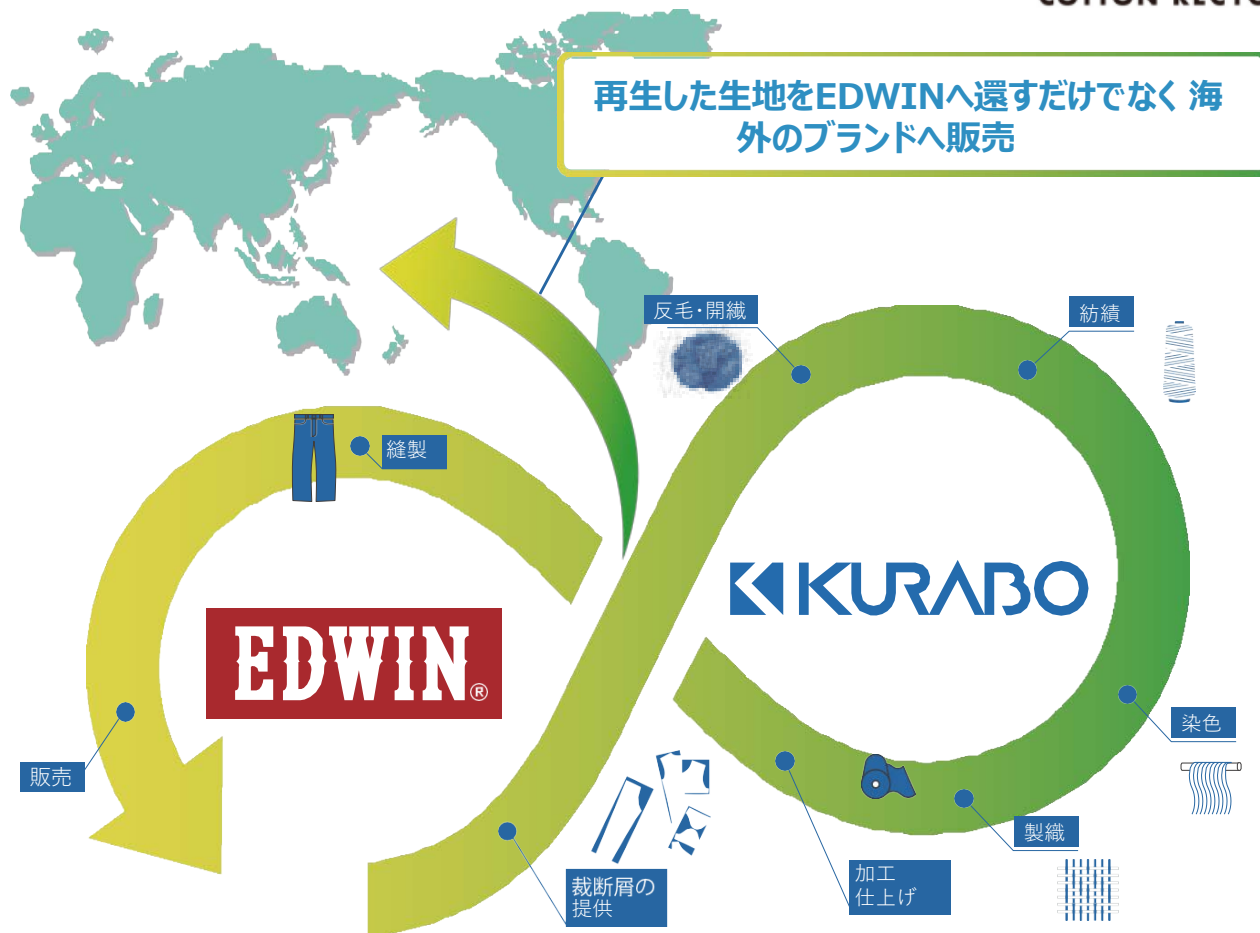
安城工場で裁断くずを
反毛・開織し再び糸にする。



協力工場で染色、製織、加工
仕上げを行い、縫製工場へ。



製品の縫製を行い、市場へ。



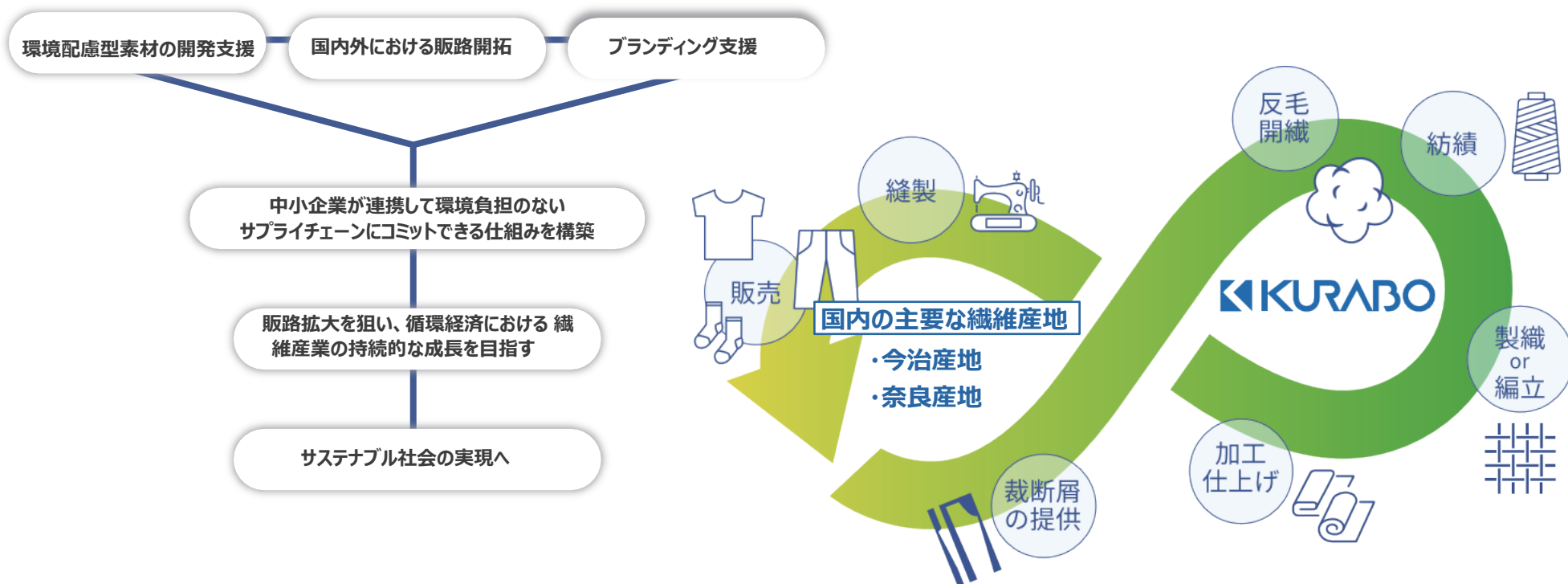
国内の各産地との取り組み



繊維産地との取り組み

環境配慮型素材の商品開発支援と生産の協業について - 私たちは日本の繊維産業を応援します。 -

クラボウは、長年蓄積してきた環境配慮型素材の生産～販売に関わる知見とネットワークを活かして、中小企業の環境配慮型のモノづくりへの転換を支援することが使命であると考え、国内の主要な繊維産地と本事業を立ち上げました。





各繊維産地との取り組み



imabari towel
Japan

今治タオル工業組合

Imabari Towel Industrial Association



今治から全国、そして世界へ。

From Imabari to the whole country and the world.



各繊維産地との取り組み



今治タオル工業組合

Imabari Towel Industrial Association

端材/C品のアップサイクル



再資源化





各繊維産地との取り組み



奈良県靴下工業協同組合



奈良県は
日本の
靴下生産地



最高にプレミアムな靴下を奈良から

消費者ニーズをカタチにしながらファンを増やす、双方向型企画の靴下ブランド誕生

[商品アイテム一覧 >](#)



各繊維産地との取り組み



奈良県靴下工業協同組合 端材/C品のアップサイクル



端材

再資源化





各繊維産地との取り組み

公益財団法人 北播磨地場産業開発機構



HOME > 播州織とSDGs

自然との共生をテーマに、播州織は「8 GOALS」に取り組んでいます

播州織のものづくりには、自然との共生が不可欠です。
産地ではずっと以前から、環境保全に尽力しながら播州織をつくり続けています。





各繊維産地との取り組み



播州織
BANSHU-ORI®

端材/サンプル反のアップサイクル



再資源化



製品回収L ∞ PLUS

服を手放す手段の分布

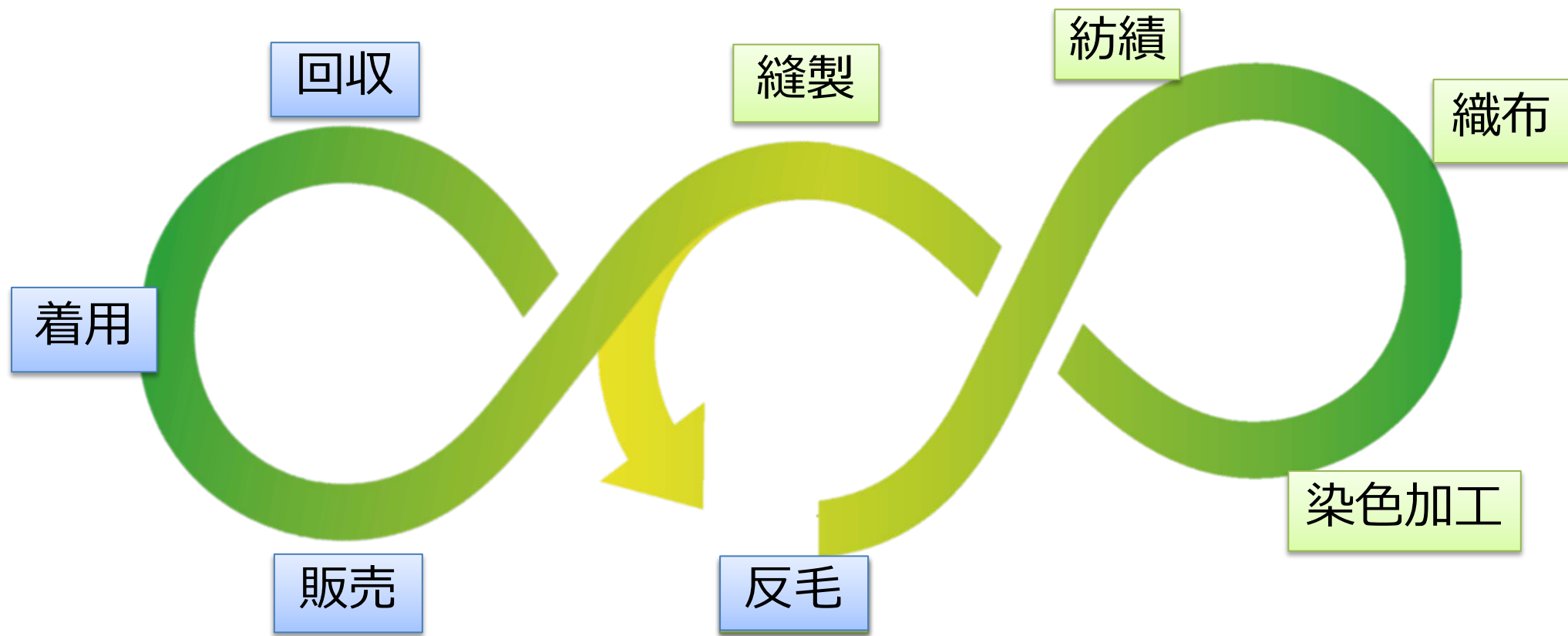


再資源化を検討

【環境省WEBページ】

中古衣料を回収し循環利用して新しい価値を創造する。

♻️ L∞PLUS

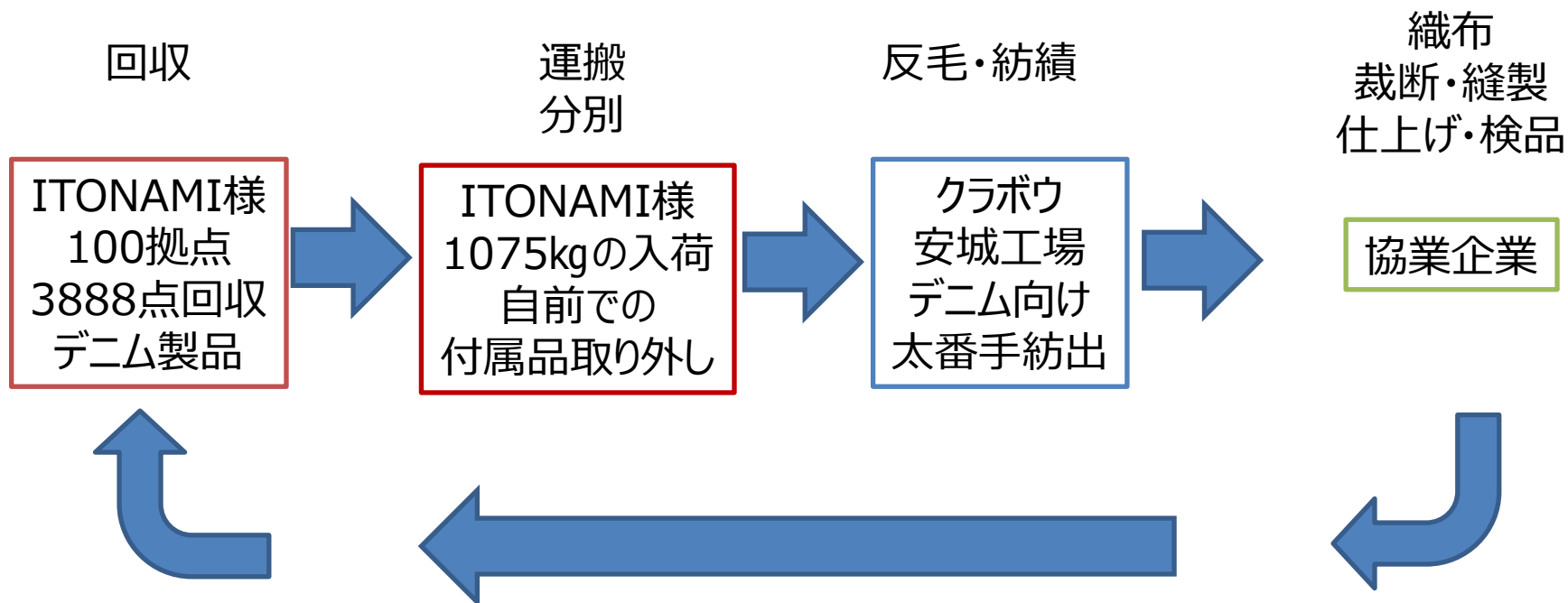


ITONAMI様との取り組み事例 「FUKKOKU」回収デニムプロジェクト



ITONAMI様との取り組み事例

「FUKKOKU」 回収デニムプロジェクト



付属品の取り外しが**大きな課題**



自治体との取り組み

「生活者とL∞PLUS」－自治体との共創を模索

- ・ 1年間で可燃・不燃ごみに出される衣服の総量は508,000トン



焼却・埋め立てられるもの95%、484,000トン！

この廃棄衣料を少しずつでも削減できないか？



クラボウの工場がある安城市へお声掛けし、共創による廃棄衣料の削減とともに、回収事業の出口戦略と地域活性化が両立できないかを模索中。

■愛知県安城市×L∞PLUS

▶ 地域活性化・エリアでのファンづくり



■安城市「安城七夕まつり」



■クラボウ安城工場

サステナブル技術の本拠地。
ここで反毛します。

◎取り組み内容

毎年夏に実施されている「安城七夕まつり」と、クラボウ安城工場のコラボプロジェクトとして、『Tシャツがタオルに生まれ変わる!?『安城七夕まつりTシャツ回収大作戦!』が開始されています。

このプロジェクトは、市民の皆さんから集めた過去の七夕まつりTシャツをクラボウが加工・反毛し、2023年に実施される七夕まつりのボランティアに配布するタオルにアップサイクルするというものです。

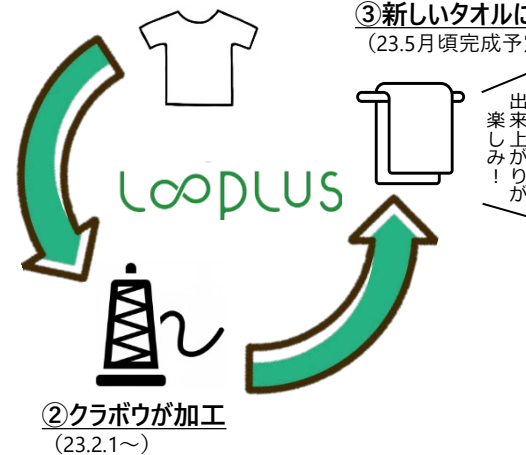
2022年12月現在、市内各所でたくさんのTシャツが回収されており、クラボウの安城工場に届き次第、再資源化に向けた加工がスタートします。

①古いTシャツを回収

(22.11.26～23.1.30まで)

③新しいタオルに!

(23.5月頃完成予定)



②クラボウが加工

(23.2.1～)

12 つくる責任
つかう責任



♫ L∞PLUS

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

